株主通信



第26期

2013年6月1日~2014年5月31日

クオリティ、スピード、オリジナリティを結集して、社会に「喜び」と「感動」を届けてまいります。

東京証券取引所 市場第一部に指定



トップインタビュー

日本から世界へ。 第2成長期へと飛躍する 日本エンタープライズ

IR 伝言板

スマートフォンが企業の内線になる 「AplosOne ソフトフォン」



日本エンタープライズ株式会社 証券コード:4829



代表取締役社長

植田勝典

ご挨拶

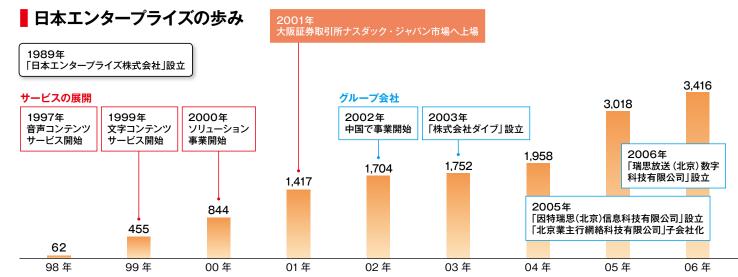
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。 当社の株式は、2014年2月28日をもちまして、東京証券取引所市場第 二部から同市場第一部銘柄に指定されました。これもひとえに株主の皆様 方をはじめ、これまでお力添えをいただきました多くの関係者の皆様方の温 かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

当連結会計年度はスマートフォンの普及が本格化し、スマートフォンにおけるモバイルコンテンツ市場は3,717億円(前期比361.2%増)*までに成長いたしました。こうした状況において、当社グループは、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大へ一層の努力を重ねてきました。

今後は提供するサイトやアプリの開発・充実化に経営資源を集中させるとともに、事業領域の拡大に積極的に取組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、 よろしくお願い申し上げます。

※一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム発表



■事業概況

当連結会計年度の売上高はキャリアの定額制サービス向けのコンテンツ拡大等により、45億8百万円(前年比9.1%増)となりました。

一方、海外を含めた新規事業関連の先行投資を行った結果、営業利益は3億35百万円(同9.9%減)、経常利益は3億40百万円(同13.1%減)となりました。当期純利益は投資有価証券売却益5億16百万円を計上したことにより、4億37百万円(同23.1%増)となりました。

連結業績概要

· 売上高 4,508 百万円

経常利益3

340 百万円

· 当期純利益 437 百万円

コンテンツサービス事業

交通情報・音楽・メール・ライフスタイル等、 携帯電話向けコンテンツの企画・開発・配 信サービス



ハイライト

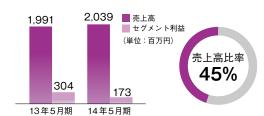
- ・キャリアの定額制サービス*1向けのコンテンツ拡大
- ・月額課金サービスのスマートフォンシフト
- ・ネイティブアプリ開発・配信を主とした子会社 「株式会社 HighLab」の設立
- ・中国人気小説の電子コミック化による配信先拡大

コンテンツサービス事業では、キャリアの定額制サービスに対する提供コンテンツの拡充とプロモーションを積極的に実施したことで、売上高24億69百万円(同15.3%増)となりました。

※1 キャリアが運営するコンテンツ使い放題の月額課金サービス

ソリューション事業

企業等に対する携帯電話インターネット等 を利用したビジネスの企画・開発・運営管 理の受託、広告及び物販サービス

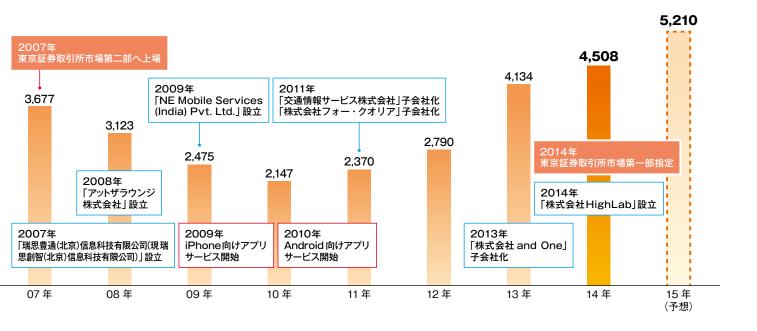


ハイライト

- ・店頭アフィリエイト※2の増収施策によるV字回復
- ・企業向け(アプリ開発等)案件の受注拡大
- ・リバースオークション「Profair」の増進
- ・キャリア(中国)の販売施策変更が携帯電話販売に影響

ソリューション事業では、コンテンツ企画、運用、デバッグなどの企業向けサービス提供に注力したこと、また中国の携帯電話販売店にて携帯電話端末を拡販したことで、売上高20億39百万円(同2.4%増)となりました。

※2 携帯電話販売会社との協業による成功報酬型コンテンツ販売(リアルアフィリエイト)





特集 トップインタビュー

日本から世界へ。 第2成長期へと飛躍する 日本エンタープライズ

スマートフォン普及に伴って、コンテンツ 市場はどのように変化してきましたか?

キャリア向けのサービスに続いて、ネイ ティブアプリ市場が広がりつつあります。

当社がコンテンツサービス事業を始めて17年の月日が経ちました。この17年の中で学んだことがあります。それは、コンテンツというものは、生々流転を繰り返しながら進化していくものであるということです。その激流の中で、私たちは常に新しいトレンドを捉えて、それに向けたコンテンツの開発から配信、新規会員の獲得に努めてきました。音声コンテンツから着うた、デコメール、ミニゲーム等のエンタメ系コンテンツを中心に、多くのユーザーのニーズを捉えコンテンツを創造してきたのです。

その後、iPhoneやAndroidなどのスマートフォンが発売され、株式会社MM総研の調査によると携帯電話に占めるスマートフォンの比率は、2013年12月末で44.5%となりました。高機能化が進むスマートフォンとともに、携帯コンテンツの市場も順調に成長しています。当社でも交通情報、健康サポート、優待割引等の生活情報系へと事業領域を拡大してきました。

さらに、注目すべき現象が起きています。それは、各キャリアの競争激化に伴う通信料の低廉化です。SIMロック解除やMVNO(仮想移動体通信事業者)などの動きもありますので、今後はユーザーが支払う通信費用は減少していくでしょう。それにより、家計の携帯電話にかける予算の枠内でコンテンツへの支出が増えていくことも予想できます。

そして、スマートフォンの普及によって、App Store や Google Playストアでのネイティブアプリの配信が可能になりました。それまでは、ゲームならばソーシャルゲームなどの特定のプラットフォーム用に開発する必要があったのですが、そのようなプラットフォーム用に開発する必要性がなくなってきたのです。さらに、日本語版だけではなく、海外版もセットしておけば、世界中のスマホユーザーへの配信もできます。まさにアプリ市場が特定のプラットフォームから世界全体に広がったのです。

これまで当社では、国内キャリアの月額や定額制サービス向けのコンテンツ提供を行ってきました。今後は、これに加えて世界市場へと広がったネイティブアプリ市場でのシェア獲得を目指してまいります。

ネイティブアプリ市場

スマートフォンゲーム市場規模 (単位:億円)



■ スマートフォンネイティブアプリ市場 ■ スマートフォンブラウザゲーム市場 ※CyberZ / シード・プランニング共同調べを



ネイティブアプリとは

スマートフォンなどの端末上で動作するプログラムによって作られたアプリ。オフラインでもコンテンツを閲覧することができ、i Phone、Android 端末で利用されるコンテンツの主流となっている。

株式会社HighLabを設立された理由を 教えてください。

ゲームを主としたネイティブアプリ事業の 成長と発展を目指すためです。

ネイティブアプリ市場の規模や成長性を見据え、 メッセンジャーアプリとの相互連携による「コンテンツ プラットフォーム への発展を目指して、2014年4月 に株式会社HighLabを設立しました。当面はゲームを 主としたネイティブアプリに対する投資やアプリのダウ ンロード数を増やすための広告宣伝などに注力してい く計画です。将来的には、トータル500万ダウンロー ド規模のメッセンジャーアプリを中核に、ネイティブア プリ市場で、コミュニティ、健康サポート、ゲーム、ツー ル等の各アプリと連携したプラットフォームを創出して まいります。500万人の内1%でも毎日課金サービス を利用すると、毎日5万人のアプリ利用収入が見込め ます。そして、ネイティブアプリ開発・配信をワールドワ イドに展開することで早期に投資回収を行い、新たな アプリの成長分野への投資を行うことで事業の成長を 図ってまいります。

中長期的な成長戦略についてお聞かせ ください。

成長市場で成果を上げ続けるために 今後も積極的な投資を行っていきます。

東京証券取引所市場第一部に指定いただき、グルー プ各社の士気も高揚し、信用力も増し、優秀な人材も 確保できるようになりました。コンテンツ事業での株 式会社HighLab設立によるネイティブアプリ市場へ の進出と同様に、ソリューション事業、中国事業につ いても、成長分野への積極的な投資を継続していきま す。また事業領域を拡大するためのM&Aも今後継続 していきます。

当社は今後、第2成長期へと入っていきます。これま で日本のコンテンツ市場で積み上げてきた信用力とコ ンテンツ開発力、そしてソリューション力を、今後は海 外の市場でも発揮していきます。なお、株主様への還 元としての配当(2015年5月期)は1株当たり3円(配 当性向32.3%)を予定しております。

ネイティブアプリのご紹介



Fivetalk (ファイブトーク)

お絵描き&グリーティングカードが送れる スマートフォン向けメッセージアプリ

『Fivetalk』は、スマートフォンを使って友達・家族間でメッセージを 送りあえるアプリケーションです。

スマートフォンの画面上に手書きで描いたイラストを送りあったり、 文字・背景・キャラクター・写真を組み合わせてグリーティングカー ドを作れることにも、好評をいただいています。

App Store のソーシャルネットワーキングカテゴリでは、人気第1 位にランキングされ、2014年7月には100万ダウンロードを突破しま した。『Fivetalk』開発チームは『Fivetalk』を、ゲームアプリ・健康 サポートアプリ・コミュニティアプリ・ツールアプリなど他のさまざま なアプリと連携させていき、ソーシャルプラットフォームとして育てて いこうと、日々奮闘しています。

App Store及びGoogle Playストアにて、検索ワード『Fivetalk』で 検索してご利用ください。

「手書きメッセージで仲 直りできた」などお客 様からのメッセージが 何より励みになります

Fivetalk 開発チー



こちらからも ダウンロード できます



連結財務諸表の要旨

■連結貸借対照表

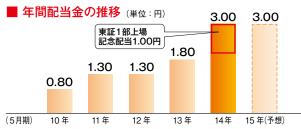
(単位:千円)

	2014年5月期	2013 年5月期
	2014年5月31日現在	2013年5月31日現在
資産の部		
流動資産	4,010,112	3,445,028
固定資産	1,531,354	1,624,167
有形固定資産	85,985	85,471
無形固定資産	313,948	306,489
投資その他の資産	1,131,419	1,232,206
資産合計	5,541,466	5,069,195
負債の部		
流動負債	887,767	840,146
固定負債	292,930	275,999
負債合計	1,180,698	1,116,145
純資産の部		
株主資本	3,699,660	3,330,464
その他の包括利益累計額	492,562	486,949
新株予約権	2,482	658
少数株主持分	166,063	134,976
純資産合計	4,360,768	3,953,049
負債純資産合計	5,541,466	5,069,195

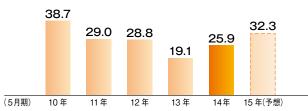
■連結損益計算書

		(-12 113)
	2014年5月期 2013年6月 1日から 2014年5月31日まで	2013 年5月期 2012 年6月 1日から 2013 年5月31日まで
売上高	4,508,867	4,134,176
売上原価	2,315,602	2,235,846
売上総利益	2,193,264	1,898,330
販売費及び一般管理費	1,857,792	1,526,128
営業利益	335,472	372,201
営業外収益	24,280	23,754
営業外費用	19,535	4,497
経常利益	340,217	391,458
特別利益	516,750	354,587
特別損失	23,838	46,087
税金等調整前当期純利益	833,129	699,957
法人税、住民税及び事業税	350,150	336,247
法人税等調整額	10,881	△14,168
法人税等合計	361,032	322,078
少数株主損益調整前当期純利益	472,097	377,879
少数株主利益	35,041	22,884
当期純利益	437.055	354.995

(単位:千円)



■ 配当性向の推移 (単位:%)



※ 2013 年12月1日付で、当社普通株式 1 株につき 100 株の株式分割を行ったことに伴い、遡及修正値を記載しております。

会社の状況 (2014年8月22日現在)

■ 会社概要

商 号 日本エンタープライズ株式会社 英文表記 Nihon Enterprise Co., Ltd.

本社所在地 〒150-0002

東京都渋谷区渋谷一丁目 17番8号 TEL 03-5774-5730 (代表)

設 立 1989年5月30日

資 本 金 5億9,599万円(2014年5月31日現在)

事 業 内 容 携帯電話を中心とした移動体端末等向けのコンテ ンツ企画・開発・運営及びソリューション事業

従業員数 191名 (その他、臨時従業員数49名) (2014年5月31日現在)

子 会 社 株式会社ダイブ

アットザラウンジ株式会社 交通情報サービス株式会社 株式会社フォー・クオリア

株式会社 and One 株式会社 HighLab

因特瑞思(北京)信息科技有限公司 北京業主行網絡科技有限公司 瑞思創智(北京)信息科技有限公司 瑞思放送(北京)数字信息科技有限公司 NE Mobile Services (India) Pvt. Ltd.

取引銀行 三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行

ホームページ http://www.nihon-e.co.jp/

■ 役員

植田 勝典 代表取締役社長 常務取締役 田中 勝 常務取締役 杉山 浩一 小栗 一朗 社外取締役 社外取締役 岡田 武史 小林 一弘 常勤監査役 監査役 小亀 慶曙 監査役 荒 孝一

■ 経営理念(綱領・信条・五精神)

綱領 我々は商人たるの本分に徹しその活動を通じ社会に貢献 し、文化の進展に寄与することを我々の真の目的とします

信条 我々は以下に掲げる五精神をもって一致団結し力強く職に 奉じることを誓います

日本エンタープライズ株式会社の遵奉する精神

- 一、商業報国の精神
- 一、忘私奉職の精神
- 一、収益浄財の精神
- 一、力闘挑戦の精神
- 一、感謝報恩の精神

株式情報 (2014年5月31日現在)

■ 株式の状況

発行可能株式総数 147,800,000 株 発行済株式総数 37,700,000 株 株主数 6,767 名

※当社は、2013 年 12 月 1 日付で 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行い、 単元株式数を 100 株とする単元株制度を導入いたしました。

■ 所有者別分布(株式数比率)



■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率 (%)
植田 勝典	11,383,300	30.19
プラントフィル株式会社	9,650,000	25.59
トヨタ自動車株式会社	1,600,000	4.24
村田 健一	752,400	1.99
オリックス株式会社	480,000	1.27
株式会社 SBI証券	353,800	0.93
多々良 師孝	315,400	0.83
杉山 浩一	217,300	0.57
飯田 政行	208,900	0.55
OCAインベストメント株式会社	200,000	0.53

株主メモ

事 業 年 度	6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
期 末 配 当 金受領株主確定日	5月31日
中 間 配 当 金受領株主確定日	11月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
単元株(売買単位)	100 株
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
電子公告URL	http://www.nihon-e.co.jp/

■お知らせ

1. 各種お手続きについて

- (1) 株主様の各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿 管理人(三菱 UFJ 信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注 意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、 三菱 UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特 別口座の口座管理機関(三菱 UFJ 信託銀行)にお問合せください。 なお、三菱 UFJ 信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本支店でお支 払いいたします。

2. 配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「期末配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「期末配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

■日本エンタープライズ・グループ

■株式会社HighLab

●ネイティブアプリを主とした モバイルコンテンツ事業

■株式会社and One

●IP-PBX 「Primus」の開発・販売 ●VoIPエンジン 「Primus SDK」の開発・販売 ●オープンソースを利用した

●オープンソースを利用した ソフトウェア開発

■ 株式会社フォー・クオリア

●Web/Mobile開発・保守●デザイン・ブラニング●端末レンタル・デバッグ・ ユーザーサポートサービス

■■ 交通情報サービス株式会社

●交通情報を主とした情報サービス事業

HighLab Caline LOUNGE: NIHON ENTERPRISE 日本エンタープライズ グループ (海外) (海外) (海外)

■■ 株式会社ダイブ

●音声事業

●広告・アフィリエイト事業●スマートフォンアプリ向け ソリューション事業

■■ アットザラウンジ株式会社

- ●音楽配信を主としたモバイル コンテンツ事業
- ●CD、音楽配信向け楽曲の 企画・制作・販売
- ●楽曲制作受託事業
- ■■ 因特瑞思(北京)信息科技有限公司 北京業主行網絡科技有限公司 瑞思創智(北京)信息科技有限公司 瑞思放送(北京)数字信息科技有限公司
 - ●電子コミック、ゲーム配信を主とした モバイルコンテンツ事業●携帯電話等の販売及び代理店業務

NE Mobile Services (India) Pvt. Ltd.

電子マガジンを主としたモバイルコンテンツ事業●受託開発などのソリューション事業



当社では、株主の皆様とのコミュニケーションを強化し、ご意見・ご要望を経営に反映させるため、アンケートを実施させていただいております。第25期株主様アンケート結果は下段のとおりです。 また、今回もアンケートはがきのご返信をお願い申し上げます。

ソリューション事業 新サービス

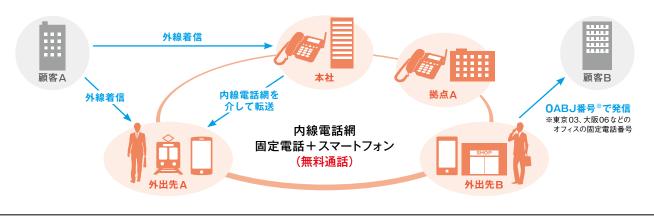
『AplosOne ソフトフォン』

- Q 先日新サービスの『AplosOne ソフトフォン』についてのニュースを読みました。 どのようなサービスですか?
- **A** スマートフォンを内線電話として活用し、企業の内線電話網を構築するアプリケーションです。

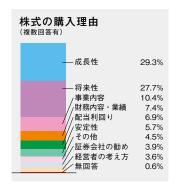
『AplosOne ソフトフォン』を導入いただくことにより、本社・拠点とスマートフォン間での内線番号による無料通話が可能となります。オフィスの固定電話番号にかかってきた外線着信は、内線電話網を介して外出先にいる従業員のスマートフォンへ直接「転送」できるようになり、電話応対をスピーディーに行えます。お客様をお待たせすることなく、「いつでも、どこでも、つながる」

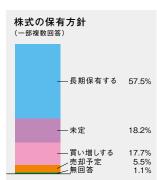
ビジネス環境の整備は、多くの企業にとって、業務を 効率化し、顧客満足度を向上するソリューションです。

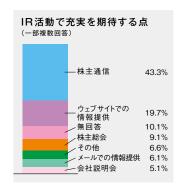
当社は今後も、電話やFAXをコンピュータシステムに統合するCTI連携ソリューション(Computer Telephony Integration)、アプリケーション、音声サービスなど多種多様な商品・サービスを開発、提供してまいります。

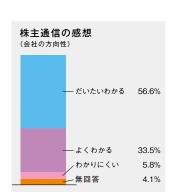


第25期 株主通信 株主様アンケート結果のご報告











ホームページのご案内

ホームページの「投資家情報」では、決算情報やIR資料、 最新のニュースリリース等を掲載しています。

URL http://www.nihon-e.co.jp/ir/

IR ニュースメール (無料)

IR情報やプレスリリース等をメールでお知らせいたします。







